

Ⅳ まとめ

1 研究の成果

(1) 児童生徒の自己指導能力を育成するための活動例の作成

各教科等における学習課題や解決すべき問題を、児童生徒が自分の課題として受け止め、今後どのように行動すべきかを主体的に考え、行動につなげることができるようにするため、教育相談の機能を生かした教育活動例を作成しました。

具体的には、学校の様々な教育活動を、指導計画例として整理し、教育相談の機能を生かす視点を基にした教育活動と、新学期、長期休業の前後、学校行事の前後、学年末などの時期との関連について明らかにし、自己指導能力を育成するための教育相談の機能を生かした指導計画例を作成しました。自己指導能力を育成する視点に立った教育活動に改善する際、本計画例を活用することができます。

各学校においては、教育相談の機能を生かした指導計画を活用することにより、日常の教育活動における児童生徒の自己指導能力を育成する指導の充実が期待できます。

(2) 家庭や地域で生かせる教育相談の考え方や手法を活用するためのリーフレットの作成

保護者や地域の方々が集団活動等を通じて子どもたちと関わる際に、教育相談の考え方や手法を生かすためのリーフレットを作成しました。本リーフレットについては、保護者や地域の方々に、教育相談の考え方や手法を理解してもらうとともに、学校における校内研修の資料や、保護者や地域の方々と協同で活動を取り組む際、児童生徒との関わり方について共通した視点をもつための資料として活用することができます。

また、家庭や地域と連携する際、本リーフレットを活用し、教育相談の考え方や手法を生かすための具体的な場面を明らかにしました。

各学校においては、集団活動等における教育相談の機能を生かした家庭、地域との連携の在り方に関する資料を活用することにより、児童生徒の自己指導能力を効果的に育成することが期待できます。

2 今後の課題

本研究では、学校における自己指導能力の育成に関する活動例を作成しましたが、自己指導能力の育成を推進する取組は、児童生徒が生活する地域や家庭においても進めることが求められます。

今後は、学校における自己指導能力の育成に関する教育活動と、家庭や地域での諸活動がどのように連携できるか、その具体的な活動例を示すことが考えられます。

また、教育相談の考え方や手法を生かすためのリーフレットについて研究協力校からは、「教育相談に意識の高い人には理解しやすいが、一般の人には理解しづらい」との意見がありました。教育相談の考え方や手法は広く一般的ではないため、誤解があったり特別なものと受け取られたりして、児童生徒と関わる保護者や地域の人々に理解されにくい面があります。

今後は、教育相談の考え方や手法を生かすことについて、子どもの生活や学習の場面と一層関連させて具体化し、それらの活用を促すことが考えられます。